

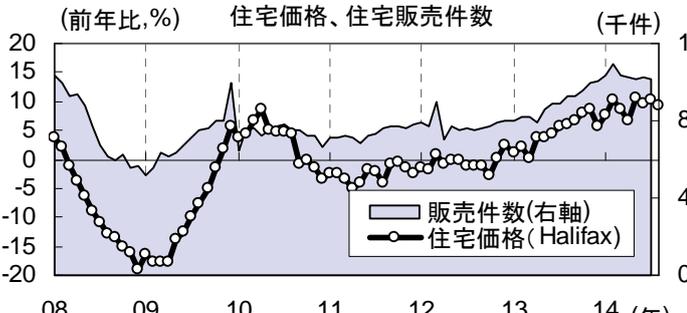
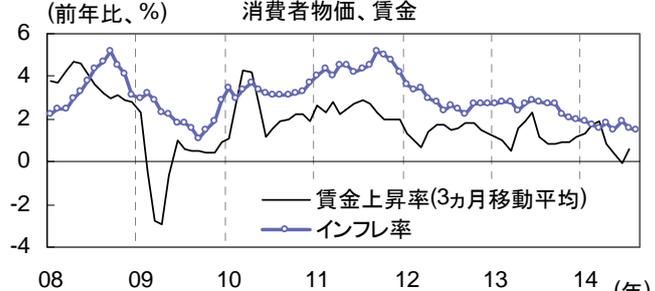
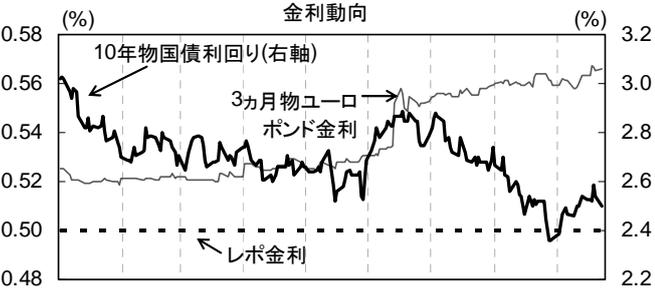
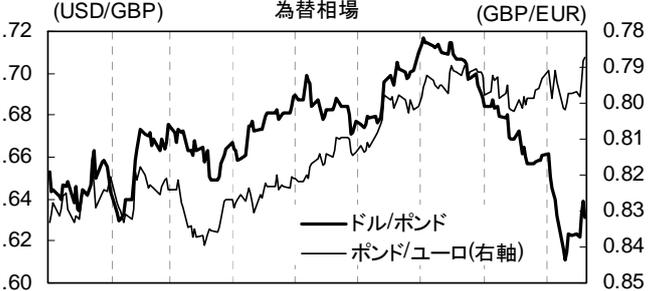
英国経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (UK)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	消費、雇用		
<p>英国経済は、堅調な景気拡大が続いている。4-6月期の実質GDP成長率は、6四半期連続のプラスとなり、伸び率も前期比+0.8%と、高成長が持続した。第3四半期の経済指標をみると、生産、消費ともに堅調さを保っている。ただし、一部の先行指標では、景気の勢いに鈍化の兆しも出てきている。製造業の購買担当者指数 (PMI) は、拡大・縮小の分岐点である50の水準は引き続き上回っているものの、8月は14ヵ月ぶりの水準まで低下した。ウクライナ問題等の地政学的リスクやユーロ圏経済の停滞等を背景に、国内・外の受注増加ペースが減速しており、今後、生産の伸びは鈍化が懸念される。ただし、個人消費については、小売売上は底堅く推移しており、消費者信頼感も高水準を維持している。賃金の伸び悩みは続いているものの、労働時間と雇用者数の伸びが家計部門の購買力増加に貢献しているとみられ、個人消費は堅調な推移が続くと考えられる。</p> <p>一方、過熱が懸念されていた住宅市場は、市況の加速一服を示す指標が増え始めた。住宅ローンに関する規制強化を背景に住宅販売件数が頭打ちとなったほか、先行指標である新規問い合わせもマイナスに転じた。価格指数にも一部に鈍化の兆しが出てきている。</p>  <p>(前年比,%) 住宅価格、住宅販売件数 (千件)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>8月の小売売上は前月比+0.4%となった。内訳をみると、衣料品が引き続き好調であったほか、住宅市場の活性化を反映し、電化製品や家具、塗料等のDIY関連も押し上げ要因となった。また、電化製品については、8月末の掃除機の消費電力に係る新たなEU規制施行 (1600ワット以上を消費する商品の販売禁止) を前にした駆け込み需要も影響した。</p> <p>7月の失業率 (ILOベース) は6.2%に低下した。7月の名目賃金上昇率 (3ヵ月移動平均) は、前年比+0.6%と、5年ぶりにマイナス成長となった前月 (同▲0.1%) からプラスの伸びに転じたものの、インフレ率を下回る状況は続いている。</p> <th data-bbox="831 593 1536 638">物価</th> <p>8月の消費者物価指数は、7月の前年比+1.6%から同+1.5%に減速した。英中銀のインフレ目標である2%を下回るのは8ヵ月連続。スーパー等における値下げ競争で食料品価格の低下が続いていることや、ポンドの上昇による輸入品価格の低下等が背景とみられる。</p>  <p>(前年比,%) 消費者物価、賃金</p> <p>— 賃金上昇率(3ヵ月移動平均) — インフレ率</p> <p>08 09 10 11 12 13 14 (年)</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	物価	
<th data-bbox="55 1198 831 1243">生産</th> <td data-bbox="831 1153 1536 1355"> <th data-bbox="831 1153 1536 1198">貿易</th> </td>	生産	<th data-bbox="831 1153 1536 1198">貿易</th>	貿易
<p>7月の鉱工業生産は前月比+0.5%となった。エネルギー関連の大幅な伸び (同+3.6%) が全体を押し上げた。一方、8月の製造業PMIは、拡大基調は維持したものの、52.5まで低下した。</p>	<p>7月の財貿易赤字は▲101.9億ポンドに拡大した。輸出はポンド高や、景気が低迷するユーロ圏を中心とした欧州の需要減退等を背景に、前年比▲4.2%となった。一方、輸入は前年水準を下回る状況は続いているものの減少幅は縮小し、同▲1.9%にとどまった。</p>		
<th data-bbox="55 1400 1536 1444">金利・為替相場</th>		金利・為替相場	
<p>政策金利: イングランド銀行 (BOE、中央銀行) は 9 月の金融政策委員会 (MPC) で、政策金利の 0.50%での据え置きと資産買取規模 (3,750 億ポンド) の維持を決定した。17 日公表の議事録によれば、前回に引き続き、9 委員中 2 名が利上げを主張したが、その他の委員は、インフレ圧力上昇の可能性を示す証拠は不十分であるとして、据え置きを支持した。</p> <p>市場金利 (8月~): 8月の長期金利 (10年物国債利回り) は2.67%で始まった。英中銀による賃金見通しの下方修正等を受けて早期利上げ観測が後退したことや、ユーロ圏におけるインフレ率低下でECBが追加緩和策を実施するとの観測が高まったこと等を背景に、8月27日には昨年6月以来となる2.36%まで低下した。その後、スコットランド独立に関する住民投票を巡り、独立賛成派と反対派が拮抗した状態となったことから先行き不透明感が高まり、利回りは上昇した。しかし、9月18日の投票の結果、独立が否決されたことを受けて、利回りは2.5%台まで低下している。</p> <p>為替相場 (8月~): ポンドの対ドル相場は8月に1ポンド=1.68ドルで始まった。米FOMCの議事録で早期利上げの可能性が高まっていることが指摘されたことに反応したドル買いや、英インフレ率の低下等を受けて、ポンドは下落傾向を続けた。9月に入り、スコットランド独立の賛否を問う住民投票を巡る不透明感の高まりでポンドは急落し、9月9日には約10ヵ月ぶりの水準となる1.61ドルまで下落したが、独立否決後には1.63ドル台まで戻している。</p>			
 <p>金利動向</p> <p>10年物国債利回り(右軸) 3ヵ月物ユーロ ポンド金利 レボ金利</p> <p>14/01 14/02 14/03 14/04 14/05 14/06 14/07 14/08 14/09</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年/月)</p>	 <p>為替相場</p> <p>ドル/ポンド ポンド/ユーロ(右軸)</p> <p>14/01 14/02 14/03 14/04 14/05 14/06 14/07 14/08 14/09</p> <p>(資料) Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成 (年/月)</p>		

1. 年、四半期

	11	12	13	2013/Q2	Q3	Q4	2014/Q1	Q2
実質GDP成長率*	1.1	0.3	1.7	0.7	0.8	0.7	0.8	0.8
				1.8	1.8	2.7	3.0	3.2
実質企業投資 (前期比、%)	▲ 1.3	3.9	▲ 1.2	0.8	3.0	1.5	5.0	-
				▲ 3.6	▲ 1.2	8.3	10.6	-
鉱工業生産*	▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 0.4	0.6	0.7	0.4	0.7	0.3
				▲ 0.9	▲ 0.4	2.2	2.4	2.1
製造業	1.8	▲ 6.7	▲ 2.1	0.5	0.9	0.6	1.5	0.2
				▲ 1.1	▲ 0.7	1.7	3.6	3.3
信頼感指数*	▲ 1.8	▲ 6.7	▲ 2.1	▲ 8.9	1.8	7.5	4.4	9.3
製造業	▲ 21.4	▲ 20.1	▲ 10.1	▲ 16.7	▲ 3.8	▲ 2.8	2.1	6.9
消費者								
小売売上数量*	0.4	1.0	1.6	0.9	1.5	0.6	0.7	1.5
				1.3	2.0	3.2	3.6	4.3
失業者数 (千人)	1,534.4	1,585.5	1,421.3	1,489.0	1,388.2	1,270.5	1,173.3	1,078.4
(失業保険へ入)*								
	2.5	3.3	▲ 10.4	▲ 3.1	▲ 6.8	▲ 8.5	▲ 7.6	▲ 8.1
失業率*								
失業保険基準(%)	4.7	4.8	4.2	4.5	4.1	3.7	3.7	3.2
ILO基準(%)	8.1	7.9	7.6	7.8	7.6	7.2	6.8	6.4
平均賃金収入* (前年比、%)	2.4	1.4	1.2	2.3	0.8	1.2	1.9	▲ 0.1
生産者価格								
工業品産出価格	4.7	2.1	1.3	0.3	0.4	▲ 0.4	0.3	0.1
				1.3	1.5	0.9	0.6	0.4
原燃料投入価格	14.5	2.8	2.6	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 1.5
				1.5	2.5	▲ 0.6	▲ 5.0	▲ 4.6
小売物価								
消費者物価(CPI)	4.5	3.2	3.1	0.7	0.3	0.6	0.1	0.7
				2.7	2.7	2.1	1.7	1.7
総合指数(RPI)	5.2	3.2	3.0	1.0	0.5	0.6	0.6	0.8
				3.1	3.2	2.6	2.6	2.5
住宅ローン金利を除く(RPIX)	5.3	3.2	3.1	0.9	0.5	0.7	0.6	0.9
				3.1	3.2	2.7	2.7	2.6
住宅価格 (HBOS, Halifax index)	▲ 2.5	▲ 0.6	4.6	2.2	2.0	2.0	2.3	2.3
				3.7	6.2	7.5	8.7	8.8
輸出金額								
世界計 (百万ポンド)	298,421	300,457	304,756	78,632	75,149	74,615	71,790	71,308
(前年比、%)	12.5	0.7	1.4	6.5	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 6.0	▲ 9.3
対EU28カ国 (百万ポンド)	158,764	151,062	153,549	38,817	38,981	36,961	35,670	36,221
(前年比、%)	11.9	▲ 4.9	1.6	4.7	4.2	▲ 2.5	▲ 8.0	▲ 6.7
輸入金額								
世界計 (百万ポンド)	398,513	409,157	412,646	104,066	104,797	101,381	98,273	98,697
(前年比、%)	9.5	2.7	0.9	2.1	2.8	▲ 1.3	▲ 4.0	▲ 5.2
対EU28カ国 (百万ポンド)	201,988	208,184	218,240	53,778	55,422	54,910	51,951	51,816
(前年比、%)	8.6	3.1	4.8	4.6	6.9	3.8	▲ 4.0	▲ 3.6
貿易収支								
世界計 (百万ポンド)	▲ 100,092	▲ 108,700	▲ 107,890	▲ 25,434	▲ 29,648	▲ 26,766	▲ 26,483	▲ 27,389
対EU28カ国 (百万ポンド)	▲ 43,224	▲ 57,122	▲ 64,691	▲ 14,961	▲ 16,441	▲ 17,949	▲ 16,281	▲ 15,595
経常収支* (百万ポンド)	▲ 22,475	▲ 59,657	▲ 72,761	▲ 7,729	▲ 23,919	▲ 23,519	▲ 18,495	-
通貨供給量* M4: (前年比、%)	▲ 2.5	▲ 1.0	0.3	1.6	2.6	0.3	▲ 0.2	▲ 0.7
公共部門所要借入額 (PSNCR) (百万ポンド)	6,861	16,609	15,920	▲ 1,425	6,201	15,920	15,752	11,927
外貨準備(金を除く) (10億米ドル)	79.3	88.6	92.4	90.2	93.3	92.4	97.3	99.4
政策金利(レポ金利) (%)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
ユーロ・ポンド金利 (3ヵ月物) (%)	0.88	0.83	0.51	0.51	0.51	0.52	0.52	0.53
国債利回り(10年物) (%)	3.03	1.88	2.36	1.91	2.72	2.78	2.78	2.70
米ドル/ポンド為替相場	1.604	1.585	1.565	1.535	1.551	1.619	1.655	1.683
ポンド/ユーロ為替相場	0.868	0.811	0.849	0.850	0.854	0.841	0.828	0.815
円/ポンド為替相場	127.75	126.46	152.58	151.60	153.28	162.62	170.13	171.85
ポンド実効相場**	79.93	82.95	81.41	80.48	81.18	83.55	85.61	86.92

(注) 特記なき限り上段は前期比、下段は前年比。外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が期末値、その他が期中平均値。*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については、欧州委員会発表。** 2005年=100

2. 月次

		2014/01	2	3	4	5	6	7	8
実質GDP成長率*		データは四半期のみ							
		▲ 0.2	0.9	0.1	0.3	▲ 0.6	0.3	0.5	-
鉱工業生産*		2.3	2.5	2.5	2.9	2.3	1.2	1.7	-
	製造業	0.3	1.1	0.5	0.3	▲ 1.3	0.3	0.3	-
信頼感指数*	製造業	3.2	4.0	3.5	4.3	3.7	1.9	2.2	-
	消費者	5.9	6.0	1.3	8.0	8.0	11.9	7.4	8.4
小売売上数量*		1.0	2.0	3.3	5.7	7.6	7.4	4.8	6.6
		▲ 1.9	1.4	0.3	0.8	▲ 0.1	0.1	0.0	0.4
失業者数 (失業保険ベース)*	(千人)	3.5	3.0	4.5	6.2	3.6	3.2	2.5	3.9
	(前月比、%)	1,171.7	1,141.8	1,113.4	1,080.6	1,041.1	1,003.7	966.5	-
失業率*	(失業保険基準、%)	▲ 2.9	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 2.9	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 3.7	-
	(ILO基準、%)	3.5	3.4	3.3	3.2	3.1	3.0	2.9	-
平均賃金収入*	(前年比、%)	7.2	6.9	6.8	6.6	6.5	6.4	6.2	-
	(3ヶ月平均 前年同期比、%)	1.6	1.9	2.1	▲ 1.4	0.4	0.6	0.7	-
生産者価格	工業品産出価格	1.3	1.7	1.9	0.8	0.4	▲ 0.1	0.6	-
	原燃料投入価格	0.3	0.1	0.1	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.1
物価		0.9	0.6	0.4	0.6	0.5	0.3	▲ 0.1	▲ 0.3
	消費者物価(CPI)	▲ 0.9	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.9	0.2	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 0.6
	総合指数(RPI)	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 6.3	▲ 5.3	▲ 3.9	▲ 4.6	▲ 7.5	▲ 7.2
	住宅ローン金利を除く(RPIX)	▲ 0.6	0.5	0.2	0.4	▲ 0.1	0.2	▲ 0.3	0.4
住宅価格		1.9	1.7	1.6	1.8	1.5	1.9	1.6	1.5
	(HBOS, Halifax index)	▲ 0.4	0.7	0.3	0.4	0.1	0.2	▲ 0.1	0.4
輸出金額	世界計 (百万ポンド)	2.8	2.7	2.5	2.5	2.4	2.6	2.5	2.4
	(前年比、%)	1.2	2.5	▲ 1.2	▲ 0.3	4.0	▲ 0.4	1.2	0.1
輸入金額	対EU28カ国 (百万ポンド)	7.8	10.1	8.5	6.8	10.7	9.5	10.3	9.3
	(前年比、%)	23,869	23,443	24,478	23,921	23,887	23,500	23,999	-
貿易収支	世界計 (百万ポンド)	▲ 5.5	▲ 6.6	▲ 5.8	▲ 7.4	▲ 7.7	▲ 12.7	▲ 4.2	-
	対EU28カ国 (百万ポンド)	11,940	11,492	12,238	12,200	12,013	12,008	12,030	-
経常収支*	世界計 (百万ポンド)	▲ 6.5	▲ 12.1	▲ 5.4	▲ 3.7	▲ 8.8	▲ 7.5	▲ 10.7	-
	(前年比、%)	33,320	32,182	32,771	32,747	33,037	32,913	34,185	-
通貨供給量*	世界計 (百万ポンド)	0.8	▲ 5.6	▲ 7.1	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 6.3	▲ 1.9	-
	(前年比、%)	17,476	17,362	17,113	17,152	17,084	17,580	17,871	-
公共部門所要借入額(PSNCR)	世界計 (百万ポンド)	▲ 0.3	▲ 2.7	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 3.9	▲ 4.4	▲ 3.1	-
	(百万ポンド)	▲ 9,451	▲ 8,739	▲ 8,293	▲ 8,826	▲ 9,150	▲ 9,413	▲ 10,186	-
外貨準備(金を除く)	世界計 (百万ポンド)	▲ 5,536	▲ 5,870	▲ 4,875	▲ 4,952	▲ 5,071	▲ 5,572	▲ 5,841	-
	(10億米ドル)	データは四半期のみ							
政策金利(レポ金利)	M4: (前年比、%)	0.0	1.1	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.0	-
ユーロ・ポンド金利(3ヵ月物)	19,397.0	▲ 134.0	15,752	▲ 10,842	8,448	11,927	▲ 9,706	-	
国債利回り(10年物)	92.6	93.8	97.3	95.0	97.2	99.4	98.8	-	
米ドル/ポンド為替相場	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
ポンド/ユーロ為替相場	0.52	0.52	0.52	0.53	0.53	0.54	0.56	0.56	
円/ポンド為替相場	2.86	2.74	2.72	2.67	2.63	2.82	2.75	2.54	
ポンド実効相場**	1.647	1.657	1.662	1.675	1.685	1.691	1.707	1.670	
	0.827	0.825	0.832	0.825	0.815	0.804	0.793	0.797	
	171.06	169.09	170.11	171.62	171.42	172.53	173.69	171.93	
	85.46	85.79	85.59	86.22	86.88	87.71	88.76	87.77	

(注) 特記なき限り上段は前月比、下段は前年比。

*印は季調値。失業率=失業者数/自営を含む就業者数。信頼感指数については欧州委員会発表。

** 2005年=100 外貨準備、通貨供給量については月末値、金利はレポ金利が月末値、その他は期中平均値。

(資料) 英国政府統計局 他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。